

いわみざわ

行 地
見 駐
編 集
司令 業務
司 令 務
広 報

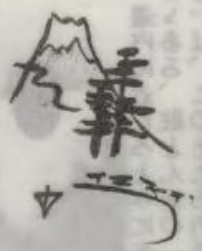
今月の行事

2日	方面総監初度視察
6日	総合訓練視察
10日	駐とん地運動会
22日	陸曹試験

創刊に寄せて

「共に育てよう！」
岩見沢駐とん地司令
一等陸佐 林田 春 義

この度、関係諸官の努力により、駐とん地として初めて「いわみざわ」という機関紙を発刊する運びとなった。これまでにこぎつけた



関係諸官 誠にご苦 労であつ た。 駐とん 地各部隊 が相互に 各々の部 隊の動き を知り合 い、かね ていろい

ろご支援を得ている隊友会や協力会の方々にも、部隊の活動を知つてもらふこと、また、駐とん地0Bの方達にも、と、欲張つたネライで発刊することになつた訳であるが、要は、隊員の団結、地域社会との相互理解、0Bとの連帯感などが最終目標だといえよう。忙しい職務の中で、編集に当る諸官、これまた大変なことだ思う。駐とん地の隊員一人一人がその気になつて努力し、協力し合うこと

で、はじめてなし得ることである。駐とん地全隊員諸官のご協力を切望する次第である。



本紙の発刊は、駐とん地始まつて以来のことと承りました。部隊も昨年度までのように小ジシマリしていた時は、何とはなしに通じ合つていたようですが、現在のような大部隊となると、いろいと支障が生じてまじしよう。

火災予防月間

全国で例年数兆円にのぼる火災損害額を出している。火災は頻発によるものは、防ごうとする努力(意識)と行動があれば防げる災害である。火災事故ゼロの駐とん地の一員として自覚し、互いに防火意識の高揚に努めよう。

「大いなる存在」

岩見沢駐とん地業務隊長
二等陸佐 小 熊 鉄 一

駐とん部隊の主力である、第二應援隊が新編して日も浅い今日、この壮挙は誠に時宜を得たものであると思います。 さて、時を経ればまた、よく通じ合うようになり、本紙は無用のものとなるでしょうか。それは一に編集の如何にかかわることでしょうが、根本的には「新聞」と「読者」の関係如何にあると思います。大方の人は、いわゆる商業新聞を購読しているでありまじしよう。一読者はこの新聞にとつては、おそく数万分の一ないしは数百万分の一

空へフワリ！ 協力会員、空の散歩



この日、隊区内各市町村から選ばれた、自衛隊協力会員二五名のヘリ体験とう乗が実施された。

九月四日 静かな土曜日の午後を破つて、第一師団飛行隊の「0H16J」2機が宮庭に舞い降りた。



この日は天候にも恵まれ、わが町わが家を眼下に見下して短かいながらも空

石狩川踏査支援
第三三六施設中隊

の存在に過ぎません。ところが、この「いわみざわ」に関して、何と約五百分の一という「大いなる存在」です。小駐とん地にあつては、各員がいかに大いなる存在であるかは、身にしみているところでありまじ。本紙発刊の佳き日にあたり、改めて一人の重さについて考えてみるのも意義のあることと思ひます。

次代を荷なり青年の意識を開発するため、道では青年の船などにより海外研修を実施しているが、主として、それら海外研修体験者の集まりである空知青年開発会議(議長 堤辰雄さん)は、空知の開発のために、石狩川の河川敷の効率的な使用を目的として、一九日三三七中、安藤三曹以下四名の支援を得て石狩川の踏査を実施し、既に実施したヘリと舟艇による調査を、今回の地上踏査で石狩川探索事業のための全調査を完成させたものである。



日の出窯

大いそがし

造り方教えます

憶に新しい。すばらしい名作ぞろい。売却を求め市民の声も多かつたが、残念ながら部活動による作品のため、売却はお断りした。こんなことも市民の陶芸熱をおおる結果となり、又、部外での陶芸講習依頼が殺到するものと予想され、駐とん地陶芸部員は嬉しい悲鳴を上げている。



道内に近ごろとみに名声をはせつゝある、駐とん地の「日の出窯」は、このところ内外に多忙で家族講習会、部外団体の陶芸講習などに引つぱりだこの有様。主として、これらの活動は近藤一曹、那須准尉、北野二曹等があつてゐるが、このところ、日曜、昼夜なしの活躍ぶり。その甲斐あつてか、岩見沢市の特産の一つに数えられるように、他の多くの物産といつしよに、市主催の第九回総合見本市に出品されたことは記



銃剣道部は、岩見沢神社奉納銃剣道大会に出場、一般市民と栄冠を争い、上位を独占した。新隊員教育隊第一期生は、このほど卒業し、各部隊に配置されたが、これを記念して「みこし行列」を支援した。群主力をもつて参加した師団對抗CPXは、種々の成果と教訓を得て、このほど終了した。さきほど実施された団集中野営訓練で、三三六中は防衛陣地を、三三七中は攻撃支援(重門橋)をそれぞれ演練した。

バレーボール部は、十月十日十一日、真駒内で実施される方面大会に出場する。乞！応援！陶芸部は、十四、十五の両日東小学校PTAに対する陶芸講習を実施する。

一師団長から、日頃の活動に対して感謝状が贈られる。美唄協力は、このほど待望の自衛隊協力会旗が完成した。これは全国でも珍らしいこと。岩見沢協力は、今月末、長沼ナイキ基地の見学会を実施し防衛意識の高揚を図る。隊友会岩見沢支部(谷口土)は、今月の行事として、滝川部隊で防衛研修を実施する。九月中の駐とん地施設利用者数、約二六〇名、町内会、青少年団体の利用を歓迎する。

第一二期生は、折悪しく降りしぶく冷雨の中で、最終訓練検閲を受閲したが、どの顔も、悪天候もものかわ、成長したたくましい施設隊員の誇らかな色に満ち溢れていた。以下、課程終了隊員の手記に、小さな施設魂の片鱗をのぞいてみたい。

気合と号令
新隊員後期課程が
新検閲終了
施設科隊員として基礎的なのはかりたつたが、施設作業全般について言えることは、みんなの気合と号令、力と技の揃いが作業の成否を決するということである。

最後の検閲は激しい雨にた、かれながら行われたが、基準手を命ぜられた私は、やる気が先走つて

みんなとのバランスをこわしてしまつたこともあつたが、私にとつてはむしろ普通の天候の時よりも、輝やかなしいものに感じ、良い思い出となつた。

自律心を尊重した課外と厳しい訓練とがマッチした良い教育隊だつたと思う。これから配属される部隊では、教つたことを基礎にして、謙虚に一隊員として励みたいと思つていきます。

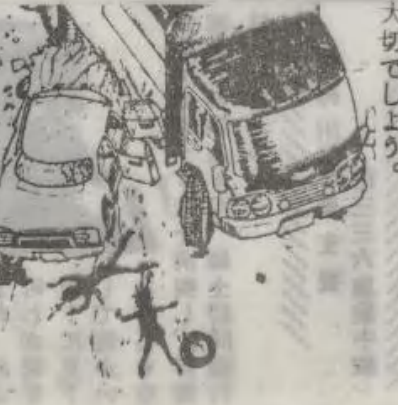
教官はじめ助教、班長、ご指導ありがとうございました。
(二士 大橋嘉典)



昭和五十一年三月二十五日、群発足以来早や半年の歳月が過ぎ、顧みるにこの半年は、いつの間にか過ぎ去つてしまつた感じがする。落ち付いて見ると、あれもこれも、やれば良いなあと思ひながら、毎日が過ぎており、今回手始めにこの「いわみさわ」を創刊することになりました。発刊に当つては、駐とん部隊の出来事や隊員個々の考え方を広く全般から収集したものを、毎月一回発刊したいと思ひます。切は毎月二〇日といたします。

北海道、又してもウーストワ今、道民が死にもぐるいで交通安全運動中です。個人も部隊も社会に対する汚点は消すべくもありません。

家庭内にあつても、全員が事故にあわないよう、常に話し合い、安全に対する心構えを育てること大切でしょう。



交通安全

非常事態

皆さんの有意義な意見、ニュースなどドンドン投稿して頂きますようお願いいたします。

何卒、皆さんの絶大なご協力を得て「いわみさわ」を育て、ゆきといと思つていきます。(長崎)

隊士の声を寄せて下さい。期待しています。(堀田)

投稿を
お待ちしています。